

東北・上越新幹線E2系のバリアフリー設備のご案内

(2021年7月1日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

E2系は長野新幹線(北陸新幹線が金沢まで延伸開業される前の呼称)用の車両として1997年3月22日から8両編成で運転を開始しました。その後、東北・上越新幹線でも運転を開始し、こちらは後に10両編成化されています。現在は北陸新幹線からは撤退し、東北・上越新幹線でのみ運転されています。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

普通車は10号車の1番A席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。このうちA席は、車いすの人からの予約が無い場合は、当日の朝から一般向けにも発売されます(B席は車掌持ちの予備席扱いで一般向けには発売しません)。

グリーン車は9号車の13番D席が車いすからの乗り移りに便利なよう通路向きに回転する構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。この席は、車いすの人からの予約が無い場合は前日の朝から一般向けにも発売されます。

多目的室(次ページの配置図で「M」と表記)

9号車の盛岡・新潟寄りにありますが、改良型ハンドル式電動車いすには対応していません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と表記)

9号車の盛岡・新潟寄りに、ベビーベッド(おむつ交換台)とベビーチェアを併設した多機能トイレがあります。

洗面所

9号車の盛岡・新潟寄りに車いす対応構造のものがありません。

公衆電話

長野新幹線では8号車の東京寄りに車いす対応構造のものがありません。

東北・上越新幹線では10号車の東京寄りに車いす対応構造のものがありませんでしたが、後に撤去されています。

上記以外の車両に設置されていた公衆電話も、2021年6月30日限りでサービスを終了しました。

飲料自動販売機

2008年3月31日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

受動喫煙の発生状況

東北・上越新幹線は2007年3月18日から、長野新幹線は2005年12月1日から、全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2013年12月7日(土曜日)

東京7時52分発長野ゆき「あさま507号」(全区間を7号車13番D席に乗車)

車両番号・7号車 = E215-15、8号車 = E224-15

(N9編成、1997年・日立製)

長野20時22分発東京ゆき「あさま550号」(全区間を7号車13番D席に乗車)

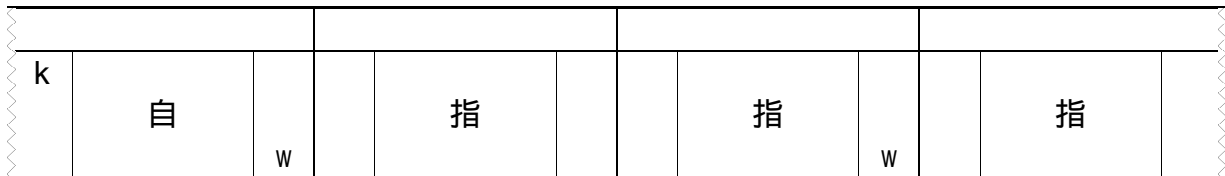
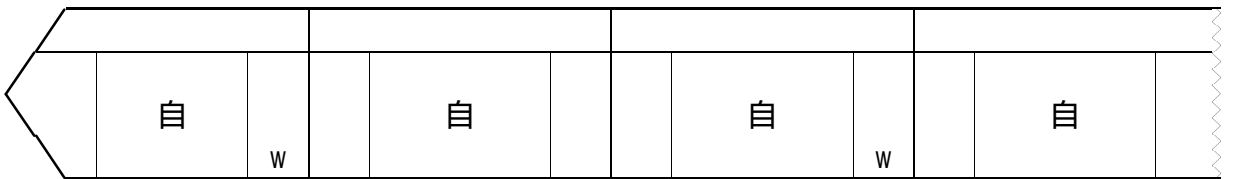
車両番号・7号車 = E215-9、8号車 = E224-9

(N3編成、1997年・日立製)

次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

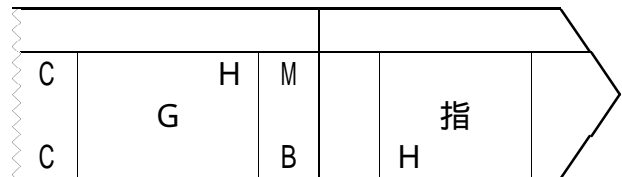
E 2 系 (東北・上越用 10 両編成) の車内設備の配置図

東京	(やまびこ)	仙台
東京	(なすの)	那須塩原・郡山
東京	(とき)	新潟
東京	(たにがわ)	高崎・越後湯沢・ガーラ湯沢



長野新幹線では連結しません

長野新幹線では 号車



凡例

- 指 = 普通車指定席 自 = 普通車自由席 G = グリーン車
- H = 車いす対応座席 M = 多目的室
- B = 車いす対応多機能トイレ (ベビーベッド有、オストメイト用設備は無)
- b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド有)
- C = 車掌室 k = 車内販売準備室
- = A E D (自動体外式除細動器)

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



東北・上越新幹線 E 2 系



E 2 系 1 0 号車 (普通車) の
車いす対応座席



E 2 系 9 号車 (グリーン車) の
車いす対応座席



E 2 系 1 0 号車 (普通車) の
車いす固定ベルト



E 2 系 9 号車 (グリーン車) の
車いす固定ベルトとシートベルト



E 2 系 9 号車の多目的室
案内掲示が何も無い
(内部は未撮影)



2008年3月31日までE 2 系の
4号車に設置されていた飲料自販機
(車いす非対応、現在は撤去)



E 2 系 9 号車の多機能トイレ



E 2 系 9 号車の車いす対応洗面所



E 2 系 4 号車の公衆電話
(車いす非対応、現在は撤去)



E 2 系 8 両編成列車の 8 号車の公衆電話
(車いす対応、現存せず)

(電話機設置区画の幅と電話機設置位置の高さに注意)
(東北・上越新幹線では 1 0 号車の車いす対応電話機は撤去済み)